

平成 29 年 3 月 31 日

一般社団法人 日本臨床救急医学会  
代表理事 殿

消防庁救急企画室長



### 緊急度判定支援ツール（救急情報シート）の周知について（依頼）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より救急業務の推進に御尽力賜り、厚く御礼申し上げます。

近年、救急出動件数は年々増加し、平成28年の救急出動件数は約621万件（速報値）となり、過去最高を更新しました。今後も高齢化を背景として救急需要が増大する一方、救急隊の増隊には限界があるため、いかにして救急業務を安定的かつ持続的に提供するか、救命率の向上を図るかが近年の救急業務に係る課題となっています。

消防庁では、「平成28年度救急業務のあり方に関する検討会」を開催し、緊急度判定体系の普及ワーキンググループにおいて、地域医療の専門家等を委員とし、こうした課題について検討しました。

検討結果を踏まえて、住民自身による緊急度判定をより効果的に支援するための「救急情報シート」を作成しました。

貴職におかれましては、本件について御了知いただくとともに、貴会員に広く周知されることについて格段の御配慮を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 記

#### 1. 掲載場所

救急情報シート（Excel データ）は、消防庁のホームページの「救急お役立ちポータルサイト」からダウンロード可能となっています。

(URL : [http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9\\_6.html](http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_6.html))

## 2. 活用方法

医療機関の医師、看護師等が患者一人一人の持病等にあわせて緊急度判定に資する情報、医療機関の連絡先等を記入し、患者へ渡す形での活用を想定しています。適宜使いやすい形に修正・加工した上で御活用ください。（別紙1参照）

また、印刷する際には、別紙2の救急車利用リーフレット（子供、成人及び高齢者版）を表に、救急情報シートを裏に印刷して配布することなどを想定しています。

## 3. その他

- (1) 平成28年度救急業務のあり方に関する検討会の報告書については、消防庁のホームページに掲載しています。

(URL:

[http://www.fdma.go.jp/neuter/about/shingi\\_kento/h28/kyukyu\\_arikata/houkou/houkokusyo.pdf](http://www.fdma.go.jp/neuter/about/shingi_kento/h28/kyukyu_arikata/houkou/houkokusyo.pdf))

- (2) 緊急度判定プロトコル ver. 2（家庭自己判断、電話相談、119番通報及び救急現場）、救急受診ガイド2017年版及び全国版救急受診アプリ（Web・スマホ版を含む）については、現在作成中であり、完成次第、公表することを予定しています。

<担当>

消防庁救急企画室

森川専門官、勝森係長、足立事務官

Tel : 03-5253-7529

FAX : 03-5253-7532

E-mail : [kyukyurenkei@soumu.go.jp](mailto:kyukyurenkei@soumu.go.jp)